

# 国民目線にたった国有林の利用とPRについて

日高北部森林管理署  
三上祥隆 山岡 史忠

## 1 はじめに

当署の国有林は日高山脈北部の西側に広がっており、国指定の天然記念物である「沙流川源流原始林」や「日高山脈中央部森林生態系保護地域」など原始的な森林も多く残されています(図1)。

また、日本百名山のひとつである「幌尻岳」をはじめ、「北トッタベツ岳」「チロロ岳」「ペンケヌーシ岳」「沙流岳」など魅力的な山が連なり、多くの登山者が訪れています。

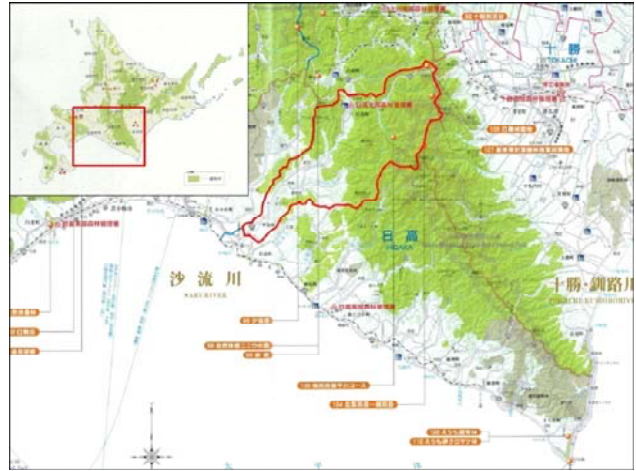


図-1 日高北部森林管理署位置図

## 2 取組みの背景

昨年8月に始まった高速道路の無料化社会実験により、これまで札幌方面から、国道274号線を利用し、日勝峠を經由して、帯広方面に向かっていた一般車両が半減し、地元日高町では、高速道路開通後の新たな振興策を見いだすことが課題となっています(図2)。



図-2 高速道路開通予定箇所

当署では、このような地域事情から、国民目線にたった国有林の利用とPRが益々重要になっていくと考え、国有林利用者の利便性の向上と情報発信を進めていくための取組みを行ってきました。昨年度、この発表会で報告したことを踏まえ、今年度は、登山等での国有林利用者や地元の方へのアンケートを行い、さらなる方策について検討・取組みを行ってきましたので報告します(図3, 写真1)。



図-3

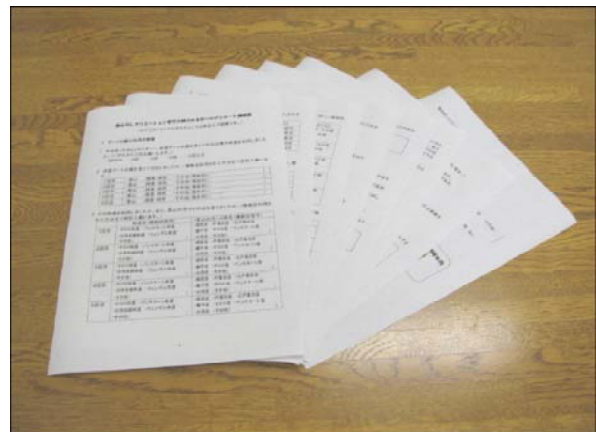


写真-1 アンケート用紙(林道利用者を対象)

### 3 登山者など国有林利用者の利便性向上の取組み

当署では、登山者の利便性の向上のため、森林管理署庁舎玄関入口に「入林ポスト」を設置し、平日の昼間以外でも入林許可証と林道ゲートの鍵の交付が受けられるように、電話による入林申請・承認を行っています。

昨年度は、「森林管理署の位置が分からない」という問い合わせが多くあったことから、国道から森林管理署庁舎までの案内版を設置したところです。

今年度は、さらなる利便性の向上のため、入林者にアンケートを行うこととし、準備を進めていたところ、8月1日に糠平岳で増水と疲労で動けなくなり、ツアー登山客8名がヘリコプターで救助されるという遭難事故が起きました。当日は大雨のため林道ゲートの鍵の貸出を禁止していたにもかかわらず、ツアー会社が合鍵を使ってゲートを開けていたことがマスコミ等に大きく取り上げられました（写真2）。



写真-2 新聞記事

このため、アンケートでは、林道ゲートや林道・登山道の整備についての意向把握を中心にする事とし、今年度に鍵を借りた方188名に、アンケート用紙を郵送しました。アンケートは、林道ゲートの鍵について、登山道についてなど様々なことを選択式と自由記入により実施しました（図4）。

回答者は188名中160名でそのうちガイドの方が13名でした。住まいは、北海道内がほとんどですが、道外からの申請者が26名いました。

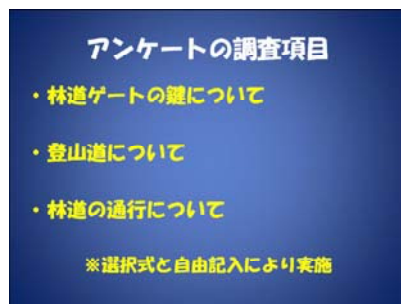


図-4 アンケート調査項目

はじめに、林道ゲートの必要性について質問をしました。「林道の安全管理は国が行うべきで、林道ゲートは必要ですか」との質問には、「必要である」と答えた方が62%でした（図5）。また、「事故が起きた際の責任は運転手の自己責任として一般車両も自由に通行すればよく、ゲートは不要ですか」との質問には、「不要である」との回答よりも「必要である」という回答が多く、57%でした（図6）。続けて、「ゲートの鍵を申請する手続きについて必要ですか」との質問には、「必要である」との回答が82%となり、「無い方が良い」との回答を大きく上回りました。ガイドの方も77%が「必要である」との回答でした（図7）。



図-5 林道の安全管理は国が行うべきでゲートは必要か

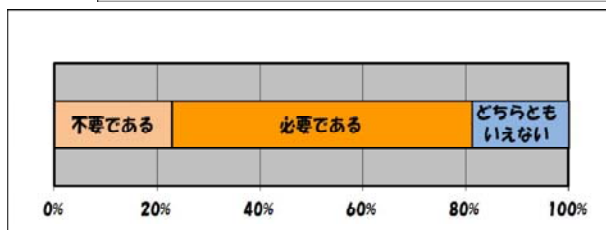


図-6 運転手の自己責任で通行すればよくゲートは不要か

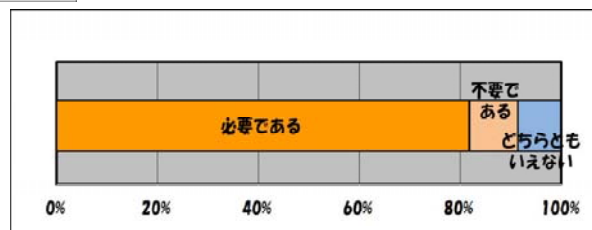


図-7 鍵の申請手続きは必要か

このようなことから、林道ゲートや鍵の手続きの必要性について、かなりの方に理解されているということが分かりました。しかし、それは鍵を使って林道を利用された方だからではないかと推測され、もし、入林の有無に関係なく地元の方に聞けば、違った傾向になるかもしれません。

そこで、地元の方にもアンケートを行い、入林者と同様の質問や自然観察会などのイベントについて、質問をしました。

その結果、「林道の安全管理は国が行うべきで、林道ゲートは必要ですか」との質問には、入林者同様に「必要である」という回答が半数以上でした(図8)。

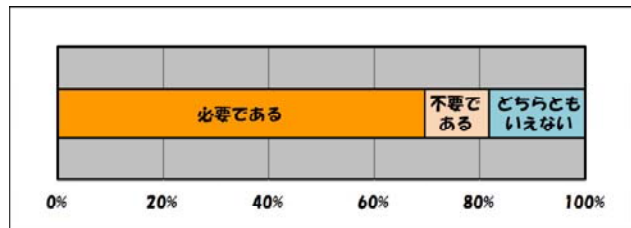


図-8 林道の安全管理は国が行うべきでゲートは必要か(地元)

また「ゲートの鍵を申請する手続きについて必要ですか」との質問には、「必要である」との回答が多数あり、入林者だけでなく、地元の一般の方を含む多くの方に、林道ゲートや鍵の手続きの必要性について理解されているということが分かりました(図9)。

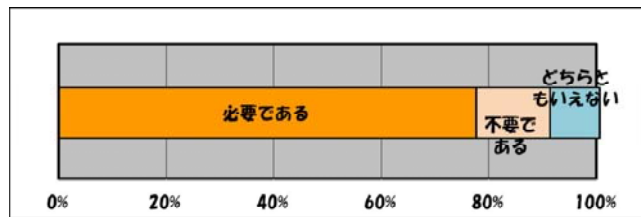


図-9 鍵の申請手続きは必要か(地元)

次に、鍵の申請の手続きについて聞き、「今のままで不便ではない」という回答と、「改良してほしい」という回答が半分に分かれました。

改良してほしいところとしては、「メールやFAXでの申請を受け付けてほしい」、「ホームページから手続きしたい」という意見が最も多い意見になりました(図10)。

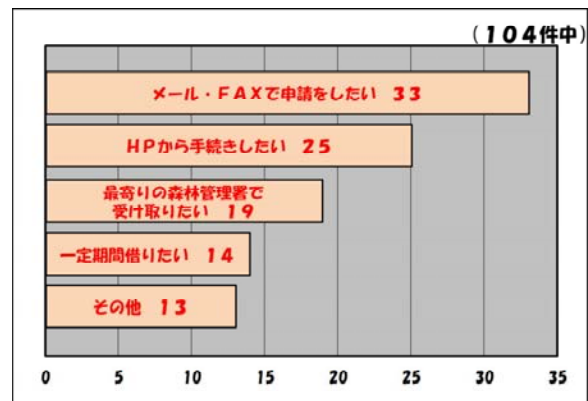


図-10 改良してほしい具体的な方法

林道について要望を聞いたところ、最も多かったのが「林道が通行可能かどうかホームページで分かるようにしてほしい」というもの、次に危険箇所にて이프等での表示やロープの設置を希望するもの、林道が迷いやすいので分岐点での標識の設置を希望するものでした(図11)。このような意見を踏まえ、道幅が狭くなっているなどの危険箇所の表示をしたり、公道から林道への取付部や分岐点に標識を設置しました。

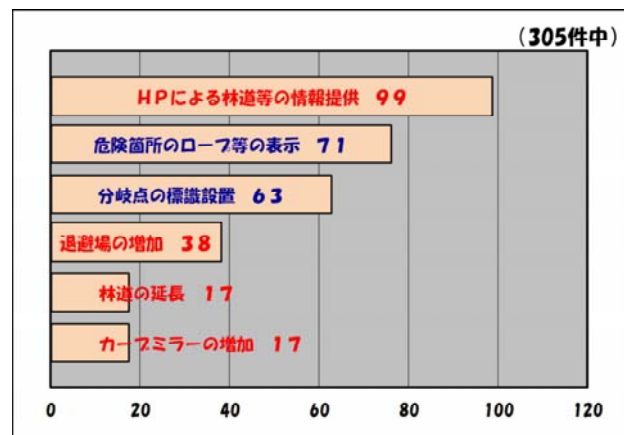


図-11 林道についての要望

また、北海道森林管理局のホームページを活用し、より幅広く林道情報が分かるようにするとともに、申請手続きや申請用紙を掲載してFAXや郵便による申請ができるように準備をしています。

今の段階ですが「林道情報」をはじめ、「署の場所がわからない」という問い合わせが多いことから、町道等が記載されている「森林管理署の位置図」や当署の山で人気の高いチロロ岳やペンケヌーシ岳の「林道案内図」、また、入林申請書と記入例を掲載できるように進めています（図12, 13）。

名称	標高 (m)	登山所要時間		林道 (一部ルート)	登山口から 登山口までの 距離・時間	林道状況	備 考
		登り	下り				
沙流岳	1,422.0	30分	20分	沙流岳林道	00km 約00分	降雪のため通行不可	① 沙流岳登山口事務所
ペンケヌーシ岳	1,735.1	2時間00分	1時間00分	パンケヌーシ林道 法輝林道	00km 約00分	降雪のため通行不可	② チロロ林道・パンケヌーシ林道案内図事務所
チロロ岳	1,875.9	4時間00分	3時間00分	パンケヌーシ林道	00km 約00分	降雪のため通行不可	③ チロロ林道・パンケヌーシ林道案内図事務所
アカヒ岳	1,827.9	4時間00分	3時間00分	チロロ林道	00km 約00分	降雪のため通行不可	④ チロロ林道・パンケヌーシ林道案内図事務所
北戸野岳	1,912.0	5時間00分	3時間00分	チロロ林道	00km 約00分	降雪のため通行不可	⑤ チロロ林道・パンケヌーシ林道案内図事務所
戸真岳	1,925.0	10時間00分	8時間00分	徳平林道 鏡沢林道	00km 約00分	降雪のため通行不可	⑥ チロロ林道・パンケヌーシ林道案内図事務所 チロロ林道案内図事務所 徳平林道案内図事務所 鏡沢林道案内図事務所
鏡沢岳	2,025.4	8時間	5時間00分	徳平林道 鏡沢林道	00km 約00分	降雪のため通行不可	⑦ チロロ林道案内図事務所 徳平林道案内図事務所 鏡沢林道案内図事務所

図-1-2 林道情報



図-1-3 入林申請書、記入例

以上が、林道に関するアンケートとそれを踏まえた取組みについての報告です。これからも局の林道に関する見解・指導を踏まえながら、当署としてさらに利用者の利便性の向上に向けて取組んでいきたいと考えてます。

#### 4 森林環境教育等のイベント情報のPRの取組み

当署では、一年に5回程度自然観察会等のイベントを行っています（写真3）。しかし、イベントの実施状況について検討してみたところ、参加者の多くが固定化しつつあるのが現状でした。このため、子供やお年寄り、町外の方など、より多くの皆さんに、自然に情報が届くようにすることが必要だと考え、昨年度に新聞への折り込みチラシ、多くの方が集まる公共機関などにイベントの情報を掲示したところです。



写真-3 イベント（沙流岳登山）

今年度は、昨年度と同様のPR活動を行うとともに、その取組みが地元の方に浸透しているかを調べるため、アンケートで質問しました。

回答者は125名中106名と多くの方から回答をいただきました。これまで自然観察会や森林教室などのイベントに参加した経験を聞いたところ、参加したことがある方が31名、参加したことの無い方が69名でした。

参加したことの無い方に、イベントがあることを知っていたかと、聞いたところ、約4割が「知らなかった」という回答でした（図14）。

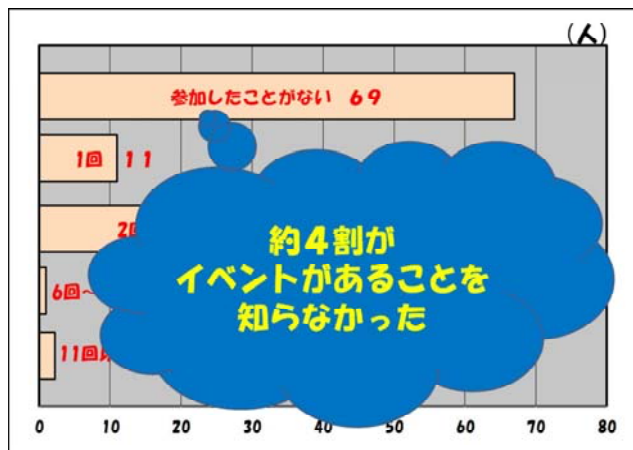


図-1-4 行事への参加回数

また、参加しなかった理由を聞いたところ、「日程が悪く都合がつかない」という回答が最も多くなりました(図15)。

このようにアンケート結果からは、イベントについてより多くの方に知ってもらうこと、また、希望者の多くが参加しやすい日程としていくことが課題であることがわかりました。

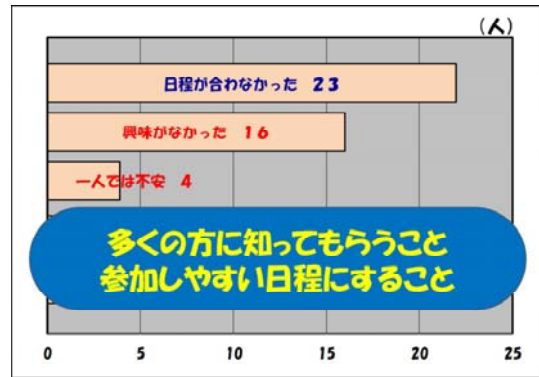


図-15 参加しなかった理由

以上の結果から、より多くの方に知ってもらえるよう新たに、当署の管轄区域外で人が多く集まるJR占冠駅や日高町門別地区の保養施設に、自然観察会等のイベントの情報を掲示しました(写真4,5,6)。



写真-4 占冠駅



写真-5 イベント情報



写真-6 占冠駅にて

今後は、新聞への折り込みチラシに加え、町の広報誌への折り込みを行い、多くの方に周知を図っていくこと、今までは土曜日にイベントを開催していましたが、仕事の都合で参加できない方もいることから、日曜日に行くなどを検討し、より多くの方が参加できるような取組みを進めていきたいと考えています。

## 5 まとめ

今回行ったアンケートの結果、国有林利用者や地元の方の多くの貴重な意見を聞くことができました。中には「いつも電話で親切にしてもらってます。ありがとう」、「毎回、借りており皆様の対応に感謝してます」というコメントも複数寄せられました(図16)。今後はこの結果を活用し、国有林利用者のさらなる利便性の向上や自然観察会等のイベントにより多くの方が参加できるよう、引き続き国民目線にたった具体的な方策を工夫していきたいと考えています。

(申請に係る職員の対応について)				
電話の対応、訪問したときの対応、丁寧で親切に対応していただきました。ありがとうございます。	男	57	(ガイド)	大森町
いつも電話で親切にしてもらっています。有難う。	男	67	自営業	千歳市
特に電話を掛けられる女性の方の対応は良く、いつも定時早く帰山が出来ています。	男	63	無職	小樽市
お礼状をいただきました。	男	60	公務員	滝川市
す。よろしくお願ひいたします。				
日高北部は親切、丁寧な対応であったが、他署は必ずしもそうでなく、連絡等を取れづらい場所がある。	男	41	公務員	室蘭市
先般はご対応頂き、ありがとうございます。おかげさまで希望が叶いました。また利用したいと存じます。本登山道はマイナーなイメージがありますが、もっと注目されてしかるべきと存じます。	男		会社員	札幌市
窓口対応の職員の方々には、(BOXを利用しないとき)丁寧にしていただきまして感謝しております。	男	60	公務員	滝川市
で、				
目の前、貴署の方が親切にも日高診療所まで案内して頂きました。大変お世話になりました。ありがとうございます。大変期待している所の観望には本望に届かなかったです。	男	60		滝川市
借用了日から雨天続きで結局入山はできなかった。雨で道路不通(入林禁止)となること、わざわざ電話連絡までしていただきありがたかった。対応には十分満足しています。	男	62	会社員	神楽川町
富良野から電話でお問い合わせしましたが、気持ちよく対応いただき、その日夕方BOXより拜禮、お世話になりました。	男	67	無職	山形県山形市

図-16